

かけはし

学校通信 9月号②

うきは市立吉井小学校

令和 7年 9月16日

文責 校長 佐々木 尚子

人権学習参観、人権講演会、懇談会 「ありがとうございました。」

《人権》は、人として生きている中では何より大事なものであり、自分の権利と人の権利の双方が守られないといけません。ですから、子ども達に《人権》をメインにした学習を毎年行っています。保護者の皆さま、どのような感想をもたれたのでしょうか。よろしければ今からでも連絡帳などで、或いは何かの機会に教えていただけると有り難いです。

その後の山本みな子さんの講演は、命をもって生きているという原点を強く感じ、心が揺さぶられました。元気に生活できることは何より幸せであり、自分も周りの人も大事にして生きていこうと感じました。これも《人権》が守られているからできます。



中学生の「先生体験」がありました。

～ 中学生6名が吉井小へ ～



吉井中学校2年生が職場体験にきました。

吉井小の子ども達は、近所だったり兄や姉の友だちだったり知っている中学生でとても喜び、休み時間も自分から中学生に話しかけたり、質問タイムには根掘り葉掘り聞き出したりしていました。

体験を終えた中学生の感想を紹介します。

◆ とても懐かしさを感じました。校舎に入ってこんなに小さかったっけと思いました。

ちょっと安心した気持ちになりました。

◆ 外で遊ぶ人がたくさんいて、さすがだと思いました。仲良く接してもらってとても嬉しかったし、楽しかったです。

◆ 先生の指導や話し方、掲示物など全てが細かく、わかりやすいと思い、先生方の工夫を感じました。

先生方に疲れがみえず、元気だったのでかっこいいと感じました。

怪我した人の手当や宿題を見たり、先生達は暇がないんだなと思いました。

◆ 立ちっぱなしで疲れました。

母校である小学校で充実した2日間を過ごしてもらえて安心しました。将来、先生になってくれるかな？

10年後を楽しみに待っております。